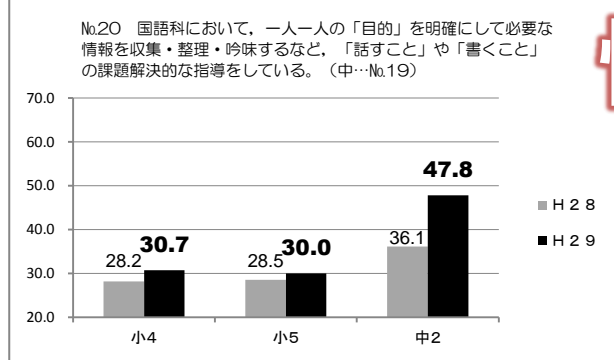


4 質問紙調査から

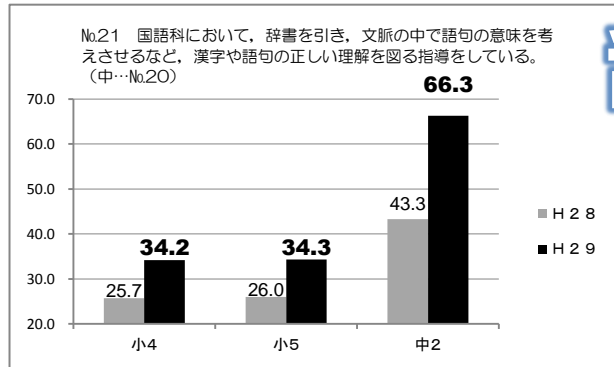
※学校質問紙調査において「十分に行った」と回答した学校の割合を示しています。



情報

情報を集め、整理するなど、課題解決的な学習にしましょう。

新学習指導要領において〔知識及び技能〕の内容に「情報の扱いに関する事項」が新設されました。情報化の急速な進展に対応して、情報を収集・整理し、話や文章を正確に理解したり適切に表現したりする資質・能力を育成する指導の改善・充実が求められています。



辞書

辞書のある言語環境をつくり、調べる習慣を付けましょう。

「小学校低学年の学力差の大きな背景に語彙の量と質の違いがある」と中教審答申において指摘されています。国語科に限らず、他の教科等の調べる学習や日常生活の中でも積極的に辞書を利用できるようにするなど、語彙を豊かにする指導の改善・充実が求められています。

5 自校の調査結果をチェックしましょう。

今回の結果からみられる自校の課題を取り上げ、来年度に向けた指導改善事項を確認しましょう。

《自校の課題》

★課題となっていることの要因や背景

- 1 児童生徒の実態から
- 2 教師の指導から

☆指導上の改善点（見届けの徹底を図るための場や方途）

国語の授業では、

平成29年度 岐阜県における児童生徒の学習状況調査

指導改善資料 国語編

平成30年3月 岐阜県教育委員会

1 結果の概要

小学校第4学年

県平均正答率 69.4%
 A問題 71.7%
 B問題 67.2%
 自校平均正答率 []%
 A問題 []%
 B問題 []%

小学校第5学年

県平均正答率 67.2%
 A問題 79.4%
 B問題 55.1%
 自校平均正答率 []%
 A問題 []%
 B問題 []%

中学校第2学年

県平均正答率 68.9%
 A問題 67.0%
 B問題 71.2%
 自校平均正答率 []%
 A問題 []%
 B問題 []%

2 指導改善の重点として取り組んできたことの成果

*「これまでの調査」の問題番号中にある「県」は県学習状況調査、「全国」は全国学力・学習状況調査を指す。

■経年でみて、成果といえること（岐阜県の強み）

問題番号	平成29年度 岐阜県における児童生徒の学習状況調査			これまでの調査		
	出題のねらい・意図	自校	県	問題番号	自校	県
小4 八-1 八-2	文章の要点や細かい点に注意しながら読むことができる。	%	89.2%	H27 県 十四	%	80.1%
		%	82.6%			
小5 二(2) 二(4) 二(5)	漢字を正しく読むことができる。「提案」(ていあん)	%	96.8%	H28 県 一	%	99.2%
	漢字を正しく読むことができる。「申し」(もう)	%	94.4%	H28 県 三	%	98.6%
	漢字を正しく読むことができる。「願い」(ねが)	%	95.9%	H28 県 五	%	98.6%
中2 二二	相手に分かりやすい語句を選択したり、相手に応じた言葉遣いに注意したりして話すことができる。	%	79.5%	H29 全国 A二一	%	89.5%

■これまで課題としてきたことのうち、改善の兆しがみられること

問題番号	平成29年度 岐阜県における児童生徒の学習状況調査			これまでの調査		
	出題のねらい・意図	自校	県	問題番号	自校	県
小4 三 七一	ことわざの意味を知り正しく使うことができる。 自分の考えを分かりやすくするために、文章の組み立てを考えることができる。	%	78.4%	H28 県 四 八一	%	72.3% 62.4%
		%	84.7%			
小5 三 七一	文の中における主語を捉えることができる。 目的や意図に応じて、グラフを基に自分の考えを書くことができる。	%	84.4%	H28 県 七 九四	%	65.3% 64.9%
		%	76.2%			
中2 四二	登場人物の描写に注意して読み、内容を理解することができる。	%	87.7%	H29 全国 A六一	%	77.0%

3 調査結果と今後の指導改善の重点として取り組むこと

■課題として捉えられること

問題番号	平成29年度 岐阜県における児童生徒の学習状況調査			これまでの調査			
	出題のねらい・意図		自校	県	問題番号	自校	県
小4	㊦三	漢字を正しく読むことができる。「社」(やしろ)	%	44.5%	—	—	—
小5	㊦(1)	漢字を正しく書くことができる。「はじめ」(初)	%	62.7%	—	—	—
中2	㊦-6	漢字を正しく書くことができる。「ドクソウ」(独創)	%	34.0%	H28 県 ㊦-7	%	24.3%

ポイント1

教材の中の語句や漢字を意図的に取り上げ、言葉のもつ意味や使い方を確かめるようにしましょう。

■授業アイデア例

◇中学校第2学年「同じ訓・同じ音をもつ漢字」(10月頃)

次の文に当てはまる漢字を考えよう。

前回お会いしたのは、あと、お元氣ですか。次にお会いできるのを楽しみにしています。

この小単元で大切なのは、「漢字そのものや語句の意味を知っていると、文脈に応じた適切な語句を使いこなせるようになる。」ということが生徒に実感されることです。そのために、次の二つのことは必ず行いましょう。

国語辞典

- 国語辞典で漢字や語句の意味を調べ、例文を確認する。
 - ① 暑い(熱い, 厚い) ② 機会(機械, 器械)等
- 類義語や対義語, 同音異義語を調べ、例文を作る。
 - 例: 暑い→蒸し暑い, 炎天下 機会→時機, 好機

◇中学校第2学年「走れメロス」(1月頃)

テキストに同訓異字や同音異義語があれば、積極的に辞書を引くようにしましょう。

メロスの誠実さやセリヌンティウスの忠誠心が王様に伝わったんだな。

国語辞典

- 「信実」→利害や打算を離れた誠実な心。「真実」→偽ったり飾ったりしない本当の心。
- 「信実」の類義語・・・誠実, 忠誠
- 「信実」の対義語・・・不実

定着状況の見届け 小単元における漢字や語句の指導については、「読むこと」や「話すこと・聞くこと」、「書くこと」の学習における指導場面で生かすこと(長期的なスパンで見届ける)が重要です。

■その他、関連した指導について (「子どもの目線に立つ2017」(第1弾及び第2弾)の「その①, その③」参照)

小学校から… 語彙を量と質の両面から充実させるために、辞書の活用は必須です。(3年生以上)

日常生活や他教科の学習でも、分からない語句があれば辞書を引き、調べる習慣が身に付くようにしましょう。帯学習や家庭学習において「短文作り」や「言葉集め」に取り組むなど、語彙力を高める機会を増やしましょう。

■課題として捉えられること

問題番号	平成29年度 岐阜県における児童生徒の学習状況調査			これまでの調査			
	出題のねらい・意図		自校	県	問題番号	自校	県
小4	㊦二2	お互いの感じ方や考え方の違いに気付くことができる。	%	27.3%	H29 全国 B3三	%	46.8%
小5	㊦三	自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉えることができる。	%	32.9%	H29 全国 B3二	%	29.5%
中2	㊦三	どの部分が根拠であるかを明確にした文章を書くことができる。	%	51.8%	H29 全国 B1三	%	44.0%

ポイント2

根拠を明確にし、対話や交流を通して、自分の考えを広げたり深めたりするようにしましょう。

■授業アイデア例

◇小学校第5学年「なまえつけてよ」(4月頃)

学習の課題 「春花」と「勇太」の関わりの変化を、二人の行動と心情の変化から考えよう。

【本教材における考えの根拠】
二人の関係の変化が分かる叙述
「関係の変化が分かる会話や行動をぬき出そう。」
「三日間の出来事を整理してまとめてみよう。」

単元の目標(教科書のリード文)を踏まえて、考えの「根拠となる表現」がどのような叙述であるのかを明らかにしておくことが重要です。

考えの根拠を明確にし

① 最初は二人の間に心の距離があったけれど、最後は相手のことを互いに大切にしようとする関係になったよね。

② どこからそう考えたのかな。

対話や交流を通して

③ 「『なによ、その態度。』と春花は怒っていたけれど、最後に校庭で勇太のすがたを見つけて、「ありがとう。」と「心の中でつぶやいた。」と書いてあるよ。感謝の気持ちに変わってるね。

④ 二人の関係が変わったことが分かるころは他にはないかな。

⑤ 勇太の行動からも分かるよ。「目を合わせない。」や、「すぐに目をそらした。」と書いてあるように、最初はどちらかという受け身だった勇太が、最後は「春花の方をじっと見ていた。」に変わっているでしょう。勇太の方が春花の気持ちに寄り添うようになっていることが分かるよ。

自分の考えに結び

定着状況の見届け 対話や交流を通して、自分の考えがどのように広がったり深まったりしたのか、その変容を自覚させる工夫が必要です。そのためにも、自分の考えと同じところや違うところを比べながら話したり聞いたりする指導を充実させましょう。

■その他、関連した指導について (「子どもの目線に立つ2017」(第1弾及び第2弾)の「その②, その④」参照)

中学校では… 「自分の考えの形成」の指導では、発達の段階に応じた学習活動を設定しましょう。

文章の構成や展開、表現の特徴や仕方等を「根拠」にし、第1学年では「自分の考えをもつ」、第2学年では「自分の考えをまとめる」、第3学年では「評価する」ことを意図した対話や交流となるよう工夫しましょう。